

科目名		環境疫学特論	
科目責任者	藤野善久	(環境疫学 教授)	
担当者	石丸知宏	(環境疫学 准教授)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職場環境(物理的、化学的、心理社会的側面等)や一般環境(空気、水、土壌等)が人の健康に与える影響を探求する目的で、人の集団を対象に曝露対健康影響の関係を評価する方法についての理解を深める。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職場環境の曝露因子の種類や特徴、人の健康に与え得る影響を概説できる。 2) 一般環境の曝露因子の種類や特徴、人の健康に与え得る影響を概説できる。 3) 人の集団について、曝露を同定し、実態を記述するための方法を説明できる。 4) 人の集団について、健康から疾病や死亡に至る異なる健康水準の評価方法を説明できる。 5) 人の集団を対象に曝露対健康影響の関係を評価するための統計的・疫学的方法を説明でき、適用できる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度40%、課題レポート20%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)

職業環境における曝露因子

職業環境の曝露因子による人への健康影響

一般環境における曝露因子

一般環境の曝露因子による人への健康影響

人集団での曝露の同定および実態記述方法

人集団での健康水準の評価方法

曝露対健康影響の関係評価に係る生物統計的手法

曝露対健康影響の関係評価に係る疫学的手法